愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	ポルトガル語入門		
担当者(Instructors)	高阪 香津美	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

愛知県にはおよそ28万人の外国人が暮らしています。その中でも、ポルトガル語を母語とするブラジル人が最も多く、その数はおよそ6万人に及びます。近い将来、みなさんはご近所づきあい、学校、介護施設、病院、市役所などでブラジル人と接することが予想されます。そこで、本授業では基礎的な文法事項と表現を学習し、地域に暮らすブラジル人とポルトガル語であいさつや自己紹介といった簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。また、言語だけではなく、動画や写真を駆使し、日本に暮らすブラジル人の生活の様子やブラジル文化に関しても扱います。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の前半部分は文法の説明、後半部分は前半に学習した文法知識を用いた問題演習、ならびに、教員を相手に、あるいは、クラスメイトとペアワークを行い、実際に学習した表現を用いた実践練習を行います。また、授業ではブラジル文化や日本に暮らすブラジル人の現状についても触れます。そして、小テストを学期に5回行い、受講生の理解度を確認します。また、この授業では2度の発表（歌詞の音読、自己紹介）も予定されています。なお、本授業では5回程度メディア授業を実施する予定です。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	授業の進め方に関する説明 ポルトガル語学習の意義の説明	□
第2回	ポルトガル語の文字（１）	ポルトガル語のアルファベットの読み方（１） ブラジル人に多い名前を知る	□
第3回	ポルトガル語の文字（２）	ポルトガル語のアルファベットの読み方（２） ブラジル人の手書きの文字を知る	□
第4回	ポルトガル語の発音とアクセント（１）	ポルトガル語の子音（１） ポルトガル語のアクセントの位置 有名なブラジルの歌（ボサノバ）に触れる	□
第5回	ポルトガル語の発音とアクセント（２）	ポルトガル語の子音（２） 有名なブラジルの歌（ボサノバ）の歌詞を用い、正しい発音を練習する	□
第6回	あいさつ表現	様々な場面や相手にあわせたあいさつ表現	□
第7回	今日の日付をいう、相手に尋ねる 自分の年齢をいう、相手に尋ねる 自分の誕生日をいう、相手に尋ねる 自分の電話番号をいう、相手に尋ねる	1～30までの数字、月の名前、曜日の呼び方 ter（～を持っている）の活用と用法 疑問詞Que, Quando, Qual ブラジルの誕生日の祝い方	□
第8回	これまで学習した内容を復習 ブラジルの有名な歌の歌詞の音読	復習 これまで練習したブラジルの有名な歌（ボサノバ）の歌詞をクラスメイトの前で音読する	□
第9回	自分の名前をいう、相手に尋ねる 自分の性格をいう、相手に尋ねる	ser動詞の活用と用法、名詞の性と数、所有詞 形容詞の性と数	□
第10回	自分の職業をいう、相手に尋ねる 自分の国籍をいう、相手に尋ねる	ser動詞の活用と用法、名詞の性と数、所有詞 形容詞の性と数 ブラジル人学校の様子	□
第11回	自分の出身をいう、相手に尋ねる	前置詞deの使い方、冠詞の性と数 ブラジルとポルトガルの街並みを紹介する	□
第12回	自分の住所をいう、相手に尋ねる 自分が話す言語をいう、相手に尋ねる	morar em（～に住む）、前置詞emの使い方 falar（話す） 医療通訳という仕事	□

第13回	自分の趣味をいう、相手に尋ねる 自分の欲しいもの、したいことをいう、相手に尋ねる	gostar de（～が、～することが好きだ） querer（～が欲しい、～がしたい）の活用と用法	□
第14回	復習と自己紹介	復習 既習事項を駆使し作成したポルトガル語の自己紹介文をクラスメイトの前で発表する	□
第15回	総復習	練習問題を解きながら学期全体の総復習	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

受講生にとって初めての外国語であるため、当日扱う単元を事前にテキストと配布されたプリントを用いて予習をする（30分程度）。 学期に5回、授業の最初に小テストを実施する上、学期の前半に1回、後半に1回、発表が予定されており、それぞれ、毎回の学習項目を踏まえた準備が必要であるため、毎回の授業後にテキストと配布プリントを用いて復習をする（30分程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の課題については授業内で答え合わせをし、模範解答を黒板に提示します。小テストについては、採点、返却をし、模範解答を黒板に提示します。そして、発表については、全員の発表が終了後に全体講評をします。自己紹介の作文課題については、添削をし、受講生に返却します。間違いが多かった箇所については、授業内でその箇所を指摘し、受講生全体で共有します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	**◆ 2019全学共通DP1**	ブラジル人の生活や文化に対する知識を身に付け、彼らが困りごとに直面する様々な場面において基本的なポルトガル語を駆使し、言語面でのサポートをすることができる。
思考力・判断力・表現力	**◇ 2019全学共通DP2**	難しい表現を使うことができなくても、知っている単語を可能な限り並べることで、自分の思いや必要な情報を相手に伝えることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
60%			20%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験（小テスト筆記試験）、その他（ブラジルの有名な歌の歌詞の音読の発表、自己紹介の発表）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	重松由美・瀧藤千恵美・Felipe Ferrari著『ブラジル・ポルトガル語を話そう！ 改訂版』朝日出版社	978-4-255-55505-8
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		